

2019年11月実施

新人歯科衛生士アンケート結果

67名中 30名から返信
無記名(回答率45%)

2019年9月1日(日)の研修会に参加しましたか
(研修会講師:日本歯科衛生士会 武井典子会長)

・参加していない → A、Bの質問に回答
・参加した → Bの質問から回答

Aの質問

1. 現在、どんな職場で働いていますか。
a. 歯科診療所 b. 病院 c. 行政・公的機関 d. 高齢者施設 e. その他 ()

2. 現在の職場での悩みを選んでください。(複数回答可)
a. 悩みはない b. 給料・昇給 c. 業務量 d. 労働時間 e. 休暇をとりにくい
f. 子育て支援制度がない g. 自分のスキル h. 教育環境、レベルアップの機会がない
i. 専門性・資格が評価されない j. 先輩との人間関係 k. 同僚との人間関係
l. 後輩との人間関係 m. 歯科医師との人間関係 n. 医療安全・感染管理体制が不十分
o. その他: 具体的に書いて下さい

3. 現在の職場での辞職・転職を考えていますか。
a. 歯科衛生士を辞めて違う職業につきたい b. 歯科衛生士として転職したい
c. 転職したいが迷っている d. 特に考えていない e. 一生、今の職場で働きたい

4. 離職防止や復職支援で本会に希望することを書いてください。

質問 A 用紙

Bの質問

1. 新人歯科衛生士 限定の研修会を開催する時、どのような項目を研修したいですか。
研修したい項目に○を(複数可)、特に必要と思う項目には◎をつけてください。

| ○ | 番号 | 項目 | ○ | 番号 | 項目 |
|---|----|---------------|---|----|---------------|
| | 1 | セメント練和 | | 8 | パノラマ・デンタルの洗影 |
| | 2 | 印象採得 | | 9 | 予防充填(シーラント処置) |
| | 3 | バキュームテクニック | | 10 | 口腔衛生指導 |
| | 4 | ブローピング・スケーリング | | 11 | 感染予防対策 |
| | 5 | シャープニング | | 12 | ストレスマネジメント |
| | 6 | T EC 作成 | | 13 | コミュニケーション技法 |
| | 7 | 口腔内写真撮影 | | 14 | ビジネスマナー |

2. その他、研修したい項目があれば書いてください。

ご協力ありがとうございました。

質問 B 用紙

質問 A

1. 現在、どんな職場で働いていますか

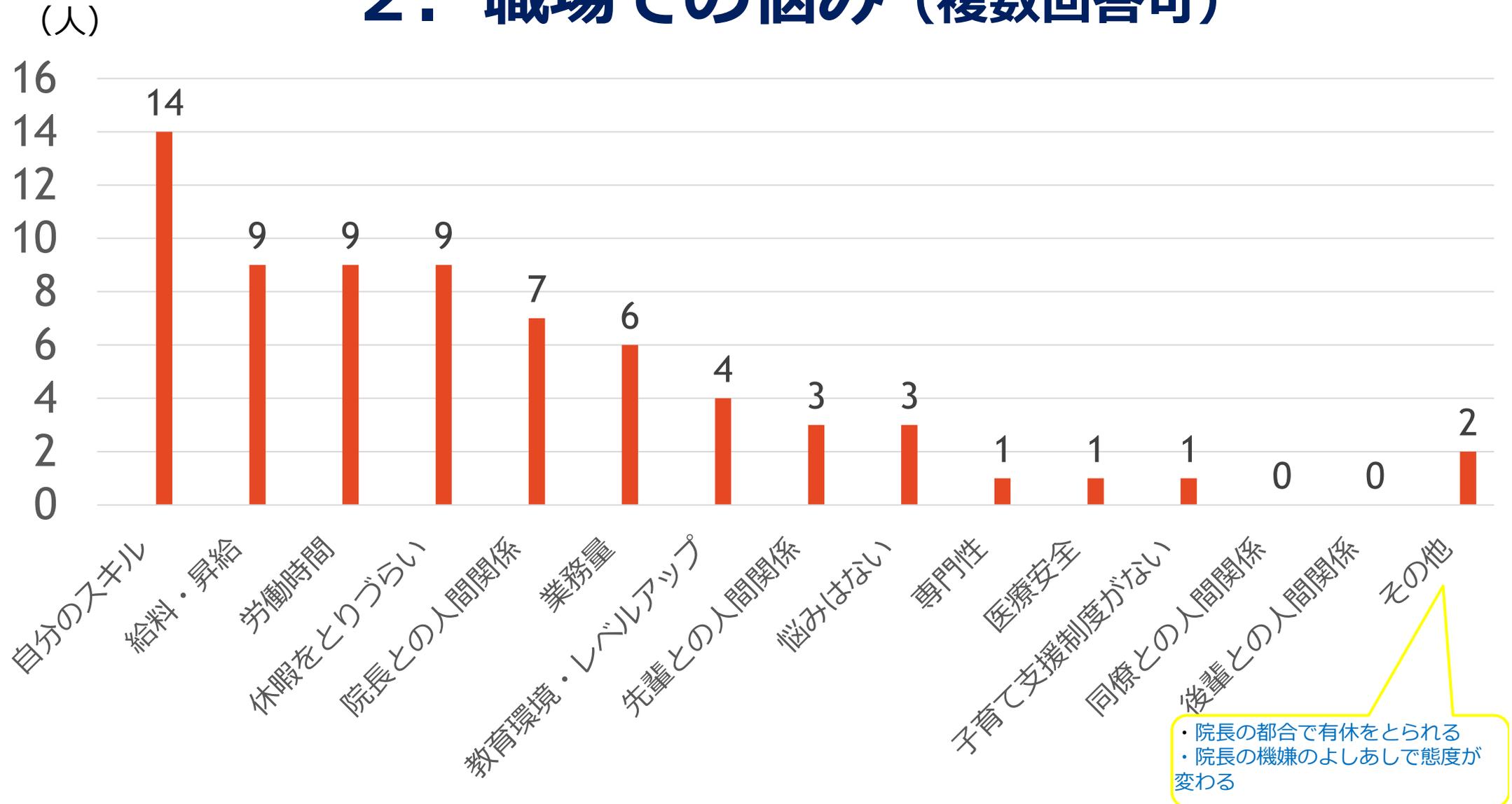


回答: 歯科診療所に勤務 30名



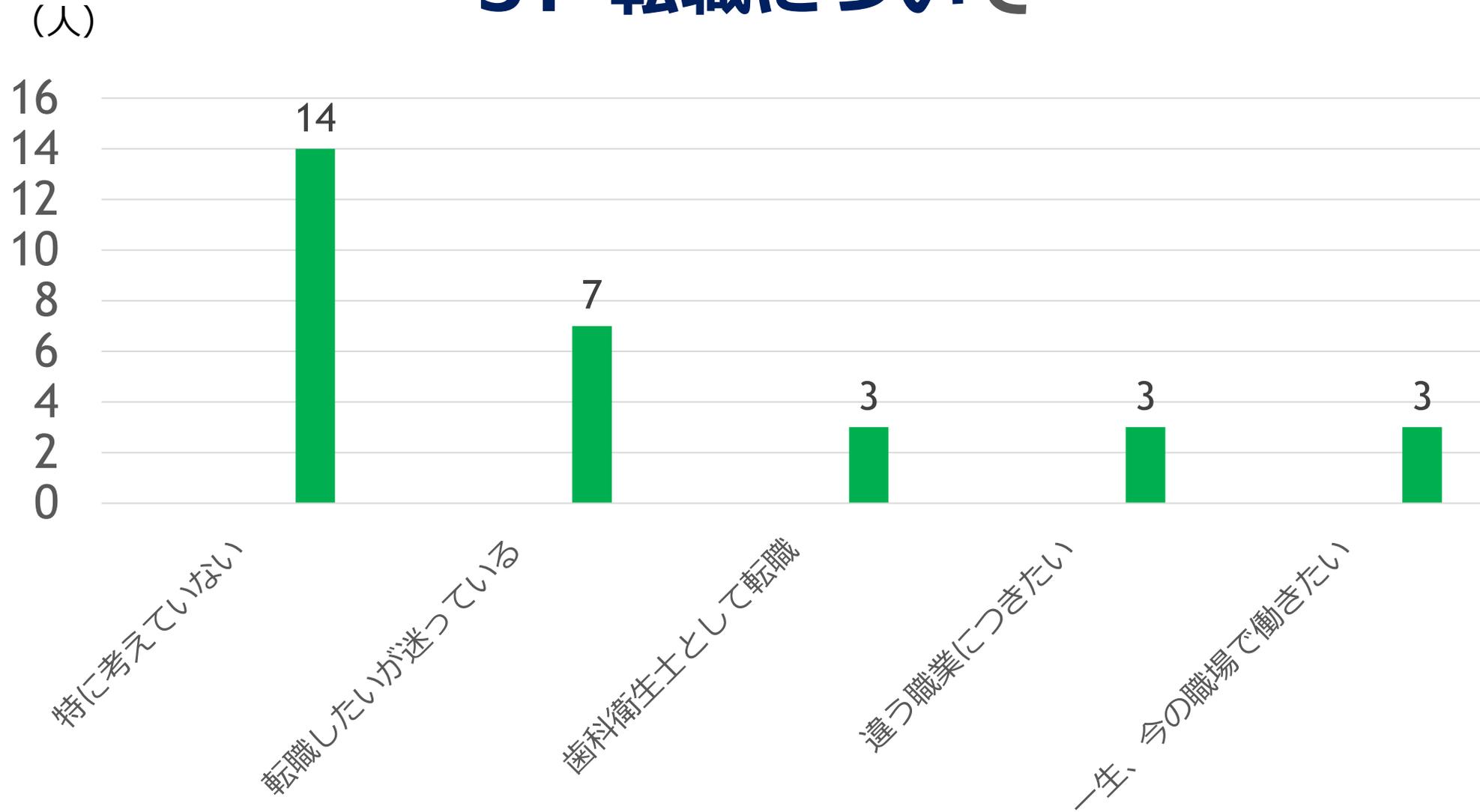
質問A

2. 職場での悩み (複数回答可)



質問A

3. 転職について



質問A

4. 離職防止や復職支援で歯科衛生士会に希望すること等 書いてください

1. 新人歯科衛生士を対象とした技術面での講演や実習があるとよい
2. 出産、育児制度が不十分だと感じ 一度離職してしまうと労働条件などにより戻りにくいため出産育児がしづらい
3. ブランクが怖いので再就職しにくいのではないかと、スキルアップ制度を設けると再就職したいと思える
4. 就職する新人DHに対し、指導する側への指導も必要なのではないでしょうか
5. 育てる側のDHの態度の改善
6. 新人が持つ悩み解決方法等知る機会がもっとほしい

質問B

1. 新人歯科衛生士限定の研修会を開催する時、 どのような項目を研修したいですか（複数回答可）

| 項目 | 人数 | 項目 | 人数 |
|---------------|----|---------------|----|
| セメント練和 | 1 | パノラマ・デンタルの読影 | 16 |
| 印象採得 | 6 | 予防充填（シーラント処置） | 6 |
| バキュームテクニック | 7 | 歯科保健指導 | 18 |
| プロービング・スケーリング | 13 | 感染予防対策 | 3 |
| シャープニング | 7 | ストレスマネジメント | 5 |
| T E C作成 | 12 | コミュニケーション技法 | 10 |
| 口腔内写真撮影 | 6 | ビジネスマナー | 8 |

質問 B

2. その他、研修したい項目があれば書いてください

保険点数の仕組み、流れ

S R P

歯肉マッサージの方法

訪問診療時の口腔健康管理

唾液腺マッサージの仕方

認定歯科衛生士について

まとめ

新人歯科衛生士の育成・研修体制について

- ・ 歯科医師会、歯科衛生士教育養成機関との連携を密にして、**新人歯科衛生士を「組織・地域で育てる」**研修プログラムを計画・立案・評価していくことが大切。
- ・ 歯科衛生士が多数勤務する歯科診療所や病院などの歯科医療機関との連携協力による**研修の実施体制を整備すること**が望まれる。